

平成 20 年度

仙台市高速鉄道事業会計
決算説明資料

- 1 決算の概況
- 2 事業実績表
- 3 予算決算比較表
- 4 建設改良事業の概要

仙台市交通局

1 決算の概況

本市の高速鉄道事業は、仙台都市圏の基幹交通機関として重要な役割を果たしており、本年度も引き続き、お客様の視点に立ったサービスの向上と安全運行の確保に努めてまいりました。

南北線につきましては、電力管理及び防災管理に係るシステムの更新工事を完了し、運用を開始したほか、全 17 駅への可動式ホーム柵設置に向けて、駅施設・設備及び車両の改修工事に着手するなど、安全性や信頼性の維持・向上に取り組むとともに、異常時や緊急時の対策の充実を図りました。

また、利便性の向上やバリアフリー化への取り組みとして、富沢駅において駅周辺の立体横断施設との接続や、エレベーター及びエスカレーターの増設等の改良工事を進めるとともに、引き続き車両改修にあわせて車椅子スペースを設置いたしました。

経営面といたしましては、引き続き、駅務員の嘱託化を行うとともに、公的資金補償金免除繰上償還制度を活用し、後年度の企業債利息の負担軽減を図るなど、費用の節減に取り組みました。一方で、各種割引乗車券の発売を継続したほか、従来の日曜・休日に加えて土曜にも対象を広げた「土・日・休日一日乗車券」の発売や、地下鉄を題材とした関連商品の販売を行うなど、利用促進策や増収策にも積極的に取り組みました。

一方、東西線につきましては、路線全体の 8 割強に相当する区間において、駅やトンネル等地下鉄本体の土木工事に着手し、これら工事を安全かつ着実に進めたほか、引き続き事業用地の取得や土木構造物の設計、支障物の移設などを行いました。

このような状況のなか、乗客数は 56,718 千人（1 日平均 155,391 人）と前年度に比較して 971 千人、1.7 パーセントの減となり、乗車料収入（消費税及び地方消費税抜き）も 105 億 8 千 8 百万円（敬老乗車証負担金及びふれあい乗車証負担金を含む。）と前年度に比較して 2 億 8 千万円、2.6 パーセントの減となりました。

本年度における収益的収支（消費税及び地方消費税抜き）につきましては、純損益で前年度に比較して 17 億 5 千 5 百万円好転し、13 億 6 千 8 百万円の黒字を計上いたしました。

当年度未処理欠損金 1,085 億 8 千 4 百万円を翌年度に繰り越したほか、資金不足額の軽減のため、資本費平準化債 46 億 4 千 5 百万円を借り入れるなど、極めて厳しい経営状況となっておりますが、引き続き、効率的な経営と、安全で快適な輸送サービスの提供に努めてまいります。

2 事業実績表

区 分	年 度	単 位	平成20年度 (C)	平成19年度 (D)	対前年度比較	
					増減(△減) (C)-(D)	比 率 (C)/(D)%
営 業 キ ロ		km	14.8	14.8	0.0	100.0
在 籍 車 両		両	84	84	0	100.0
年間走行キロメートル		km	6,917,720	6,931,668	△ 13,948	99.8
乗 客 数	定 期 外 (A)	人	33,950,800	35,088,673	△ 1,137,873	96.8
	定 期	人	22,767,060	22,599,840	167,220	100.7
	計 (B)	人	56,717,860	57,688,513	△ 970,653	98.3
	一 日 当 り	人	155,391	157,619	△ 2,228	98.6
乗車料収入	定 期 外	千円	7,383,500	7,666,743	△ 283,243	96.3
	定 期	千円	3,204,041	3,201,615	2,426	100.1
	計	千円	10,587,541	10,868,358	△ 280,817	97.4
	一 日 当 り	千円	29,007	29,695	△ 688	97.7
職 員 数 (管 理 者 除 く)		人	425	432	△ 7	98.4
輸送人員定期外比率 (A)/(B)		%	59.9	60.8	△ 0.9	—

(注) 「乗車料収入」の金額は、消費税及び地方消費税抜きである。

3 予算決算比較表

(収益の収支)

(単位:千円)

区 分 科 目	平成20年度予算額				平成20年度 決算額 (B)	差 引 (△ 減) (B)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△ 減)	流用増減額	合 計 (A)		
高速鉄道事業収益	14,900,607	0	0	14,900,607	14,677,690	△ 222,917
営業収益	12,463,041	0	0	12,463,041	12,234,765	△ 228,276
運輸収益	11,301,852	0	0	11,301,852	11,082,848	△ 219,004
運輸雑収益	1,161,189	0	0	1,161,189	1,151,917	△ 9,272
営業外収益	2,437,556	0	0	2,437,556	2,442,767	5,211
他会計補助金	2,424,348	0	0	2,424,348	2,417,362	△ 6,986
雑収益	13,208	0	0	13,208	25,405	12,197
特別利益	10	0	0	10	158	148
高速鉄道事業費用	14,140,244	0	0	14,140,244	12,933,294	△ 1,206,950
営業費用	10,005,980	0	0	10,005,980	9,537,792	△ 468,188
人件費	2,995,212	0	0	2,995,212	2,841,914	△ 153,298
経費	3,600,603	0	0	3,600,603	3,262,396	△ 338,207
減価償却費	3,410,165	0	0	3,410,165	3,433,482	23,317
営業外費用	4,084,254	0	0	4,084,254	3,395,502	△ 688,752
支払利息及び企業債取扱諸費	3,854,254	0	0	3,854,254	3,346,350	△ 507,904
消費税及び地方消費税	230,000	0	0	230,000	49,152	△ 180,848
特別損失	10	0	0	10	0	△ 10
予備費	50,000	0	0	50,000	0	△ 50,000
当年度純損益(税込み)	760,363	0	—	760,363	1,744,396	984,033
当年度純損益(税抜き)	514,848	△ 311,398	—	203,450	1,368,216	1,164,766

繰越利益剰余金 (△繰越欠損金)	△ 109,951,828	0	—	△ 109,951,828	△ 109,951,828	0
未処分利益剰余金 (△未処理欠損金)	△ 109,436,980	△ 311,398	—	△ 109,748,378	△ 108,583,612	1,164,766

(注)消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、「当年度純損益(税抜き)」、「繰越利益剰余金」及び「未処分利益剰余金」については、消費税及び地方消費税抜きの額である。

(資本的収支)

(単位:千円)

区 分 科 目	平成20年度予算額					平成20年度 決算額 (B)	差 引 (△ 減) (B)-(A)	翌年度 繰越額
	当初予算額	補正予算額 (△ 減)	流用増減額	繰越額	合 計 (A)			
高速鉄道事業資本的収入	41,150,789	14,764,667	0	3,249,083	59,164,539	45,850,303	△ 13,314,236	12,436,195
企 業 債	29,502,000	3,765,000	0	1,020,000	34,287,000	30,383,300	△ 3,903,700	3,484,000
特 例 債	2,343,000	0	0	0	2,343,000	2,110,000	△ 233,000	0
平 準 化 債	3,767,000	878,000	0	0	4,645,000	4,645,000	0	0
地方公営企業等 金融機構出資債	0	23,000	0	0	23,000	23,000	0	0
出 資 金	1,967,000	2,772,000	0	649,000	5,388,000	2,815,000	△ 2,573,000	2,459,000
他 会 計 補 助 金	1,663,322	3,876,667	0	874,361	6,414,350	2,880,158	△ 3,534,192	3,484,476
国 庫 補 助 金	1,186,105	3,450,000	0	705,722	5,341,827	2,343,503	△ 2,998,324	2,998,324
他 会 計 長 期 借 入 金	612,427	0	0	0	612,427	612,427	0	0
そ の 他 資 本 的 収 入	109,935	0	0	0	109,935	37,915	△ 72,020	10,395
高速鉄道事業資本的支出	45,905,089	13,866,027	0	3,251,036	63,022,152	49,590,065	△ 13,432,087	12,438,891
南北線建設改良費	4,207,086	1,797,866	0	505,464	6,510,416	4,284,757	△ 2,225,659	1,877,588
東西線建設費	6,011,707	12,068,161	0	2,745,572	20,825,440	9,971,771	△ 10,853,669	10,561,303
企業債償還金	35,633,186	0	0	0	35,633,186	35,310,525	△ 322,661	0
投 資	23,100	0	0	0	23,100	23,012	△ 88	0
そ の 他 資 本 的 支 出	10	0	0	0	10	0	△ 10	0
予 備 費	30,000	0	0	0	30,000	0	△ 30,000	0
差 引	△ 4,754,300	898,640	0	△ 1,953	△ 3,857,613	△ 3,739,762	117,851	△ 2,696

補てん財源	△ 759,729	0	15,513	79,569	△ 664,647	72,563	737,210	283,128
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	245,149	311,398	0	79,569	636,116	375,829	△ 260,287	283,128
損益勘定留保資金	3,993,787	0	15,513	0	4,009,300	3,842,031	△ 167,269	0
当年度純損益	514,848	△ 311,398	0	0	203,450	1,368,216	1,164,766	0
前年度繰越金	△ 5,513,513	0	0	0	△ 5,513,513	△ 5,513,513	0	0
当年度末資金剰余額	△ 5,514,029	898,640	15,513	77,616	△ 4,522,260	△ 3,667,199	855,061	280,432

(注)消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、「補てん財源当年度純損益」については、消費税及び地方消費税抜きの額である。

○資金不足比率

(単位:千円, %)

資金不足額(※) (a)	事業規模(※) (b)	資金不足比率 (a)/(b)
0	11,688,954	—

※事業規模=営業収益-受託工事収益

※資金不足額については、解消可能資金不足額9,279,093千円を控除した額である。

4 建設改良事業の概要

(単位：千円)

科 目	平成20年度 決 算 額	主 た る 事 業
南北線建設改良費	4,284,757	
建 物	572,268	富沢駅改良工事ほか
線 路 設 備	163,718	可動式ホーム柵設置事業ほか
電 路 設 備	2,156,839	南北線システム更新ほか
そ の 他 構 築 物	6,238	車両基地ダクト改修工事
車 両	1,314,689	車両改修等
機 械 装 置	39,539	カード集中発行装置更新ほか
工 具 ・ 器 具 ・ 備 品	6,532	小型紙幣計数機購入ほか
建 設 諸 費	24,934	人件費及び事務経費
東西線建設費	9,971,771	
土 地	609,796	用地取得ほか
建 物	57,488	建築・建築設備設計業務委託ほか
線 路 設 備	5,907,241	地下鉄本体土木工事ほか
電 路 設 備	21,420	信号通信設備基本設計業務委託ほか
機 械 装 置	1,785	信号通信設備基本設計業務委託
工 具 ・ 器 具 ・ 備 品	370	パソコン等購入
地 上 権	227,583	区分地上権設定ほか
仮 設 備 費	34,556	工事事務所賃借料ほか
建 設 諸 費	1,013,040	東西線建設本部人件費ほか
建 設 利 息	123,723	企業債利息
受 託 工 事 費	16,741	駐輪場建設に係る土木工事等受託工事ほか
委 託 建 設 費	1,958,028	建設工事施行委託
計	14,256,528	

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。